

特集1

「こつた健康の日」を 制定しました！

「健康でいきいきと幸せな楽しいくらしを送りたい」こんな願いは、誰もが持っているものではないでしょうか。

幸田町では、平成19年度にみんなで育む「健康こつた21計画」の中間評価・見直しをし、子ども、働き盛り、熟年世代の3つのライフステージごとの心と体の健康づくりのための取り組みの方向を定めました。

この健康こつた21計画の「幸せな楽しいくらしはまず健康」の理念のもとに、町民一人一人が健康づくりに取り組む意識の向上を図るため、「こつた健康の日」を新たに制定しました。



◇「こつた健康の日」はいつ？

毎年11月1日を

「こつた健康の日」とします。

◇推進項目は？

○家庭や地域における健康づくりを推進します。

○自分の健康状態を知り、自分のスタイルにあった健康づくりを実践します。

○子ども、働き盛り、熟年のライフスタイルに合わせた健康づくりを推進します。

◇推進方法は？

町、健康づくりに関する団体や関係機関が連携をし、健康づくりに関する各種教室、講座、イベントおよび広報、ホームページなどを通して啓発、推進を図ります。

地域の健康づくりを支える皆さんを紹介します。

幸田町保健推進員

幸田町保健推進員
ってどんな人？

幸田町保健推進員は、町が行う母子保健事業や健康づくり事業の協力と地域の皆さんの健康を支援する活動を行うために、各区長さんの推薦により選出された人々です。町全体では33人が活動しています。

毎月定例会として健康に関する研修会などを開催し、その内容を地域の皆さんへ伝えたり、離乳食講習会やすくすくこたつ子講座の託児、住民健診の啓発・協力や今年度からは、認知症予防事業「げんきかい」の運営にも協力をいただいています。

みんなで楽しくやりましょう！
が合言葉



どんな活動をしているの？



「げんきかい」では高齢者と一緒に転ばん体操を！

今年8月から各学区で始まった「げんきかい」では、会場準備をはじめ、町の保健師と一緒に運営に協力をいただいています。

転倒予防のために高齢者と一緒に転ばん体操をするなど、地域の皆さんが元気に楽しく毎日が暮らせるように健康づくりを支えていただいています。

幸田町健康づくり食生活改善推進員



食生活改善協議会が設立して、24年になります。

このたび長年の実践活動により功績が認められ栄養関係功労者愛知県知事表彰を受賞されました。



食生活改善推進員ってどんな人?

食べることが好き、料理が好き、人とおしゃべりをするのが好きな35人の仲間です。会員は20歳代から70歳代の人までおり、「自分たちの健康は自分たちの手で!」を合言葉に、地域で食生活を中心に健康づくりを広めています。地域でさまざまな教室やイベントなどの機会を通し、子どもから高齢者まで食を通じた健康づくりに取り組めるように、また食生活の楽しさを伝えるために活動しています。

★参加者の声★

食改さんが親切で、離乳食作りをがんばろうと思いました。

どんな活動しているの?

マタニティママを応援しています!

妊婦さんの料理教室である「マタニティランチの会」では、料理の楽しさや食生活の大切さを伝えていただき、離乳食前期講習会では、お母さんと一緒に離乳食を作り、子育て中のお母さんを応援しています。



マタニティランチの会



離乳食前期講習会 (ごっくんクラス)

★参加者の声★

楽しくできて、料理をするヒントが見つかりました。

地域の皆さんの健康を応援しています!



できる男の料理教室



食生活に役立つ、食改さんが考案した「かんたん副菜レシピ」保健センターでお配りしています。



今後、食生活に関する出前講座も始めます。地域の活動で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。お気軽に声をかけてください!!





こうた健康引受人『ハート会員』



合言葉は、「心も体もきれいに」
「仲間と仲間の健康づくり」です。

こうした健康引受人『ハート会員』は、健康づくりを推進するための活動を行っています。

こうした健康引受人『ハート会員』ってどんな人？

主な活動は、若い人から高齢者まで誰でもできる『こうしたハート体操』などの健康体操を、町民の皆さんに広めることです。
また、この活動を通して、自分自身の健康づくりにもつながっています。

どんな活動をしているの？

誰でもできる健康体操

ハート会員の中の健康づくりリーダーが中心となって、保健センターで健康体操の教室を行っています。

健康体操依頼による活動

老人ホーム、老人クラブ、ボランティアまつり、老人クラブスポーツ大会、げんきかいなどで、『こうしたハート体操』などの健康体操を広める活動を行っています。

のびのびキッズ体操・親子ふれあい教室・小学校で出前講習

親子でふれあえる体操や遊び、『こうしたハート体操』の出前講習などを行っています。



▲いきいきサロンからの依頼による活動

♡ハート会員の声♡
「楽しかった、ありがとうね」と声をかけてもらい嬉しかった。



▲老人クラブからの依頼による活動

♡ハート会員の声♡
参加者の皆さんはとても元気で、こちらがパワーをもらっている。

♡参加者の声♡

楽しかった。家でお父さんやお母さんと一緒にやりたいな。



▲荻谷小学校からの依頼による出前講習



そのほか、依頼に応じ、さまざまな活動を行っています！みなさんも一緒に『こうしたハート体操』を広めませんか？

みんなでできる！みんなとできる！こうしたハート体操

老人クラブの人の声から、みんなで作った、幸田町オリジナルの体操です！！



こうしたハート体操は、誰でも簡単にできる準備体操として作られました。

作詞：ハート会員の皆さん

作曲：山恭一さん

振り付け：健康づくり生涯学習舎「太陽のまなびや」
サンフェローズ 川元照子先生

うた：幸田町出身歌手の谷川千恵さん

♡体力に合わせて3つのバージョンがあります♡

『立ちバージョン』『動きバージョン』『座りバージョン』



ことうた健康の日制定を記念して
健康ウォーキング大会を開催します!

ことうた健康の日制定を記念して、健康ウォーキング大会を開催します。健康づくりのきっかけにしましょう。家族、友達を誘ってみんなで歩きましょう!

とき 11月1日(日)

午前9時~11時(予定)

(受付時間:午前8時30分~9時)

小雨決行 中止の場合は、防災無線でお知らせします。

集合場所 幸田中央公園内 多目的グラウンド

内容 ★準備運動 ことうたハート体操 (ことうたハート会員)

★ウォーキング

コース 中央公園スタート→とほね運動場→不動ヶ滝の往復です。(約6km・1時間20分のコース)

持ち物 タオル、水筒、履きなれた運動靴、運動しやすい服装で参加ください。

そのほか 医療受診されている人は、事前にかかりつけ医の承諾を受けてください。

参加希望の人は、当日直接集合場所にお越しください。

先着300人の皆さんに健康ことうたマスコットキャラクター「すこっぴー」のオリジナルキーホルダーを差し上げます!



健康ことうた21計画
マスコットキャラクター
「すこっぴー」

日常生活にウォーキングなどを取り入れ、積極的に体を動かします

新型インフルエンザの
感染予防に努めましょう!

現在、国内において新型インフルエンザが流行しております。病原性も弱毒性といわれており、抗インフルエンザ薬(タミフルなど)も治療に有効であるといわれています。しかしながら、慢性疾患(ぜんそく、糖尿病など)のある人、妊婦、小児などは、重症化の恐れもあります。

町民の皆さまには、下記のとおり新型インフルエンザの感染予防に努めていただきますようお願いいたします。

また、今後も、正確な情報に従い、冷静な行動に努め、国、県などが発表する情報に注意をお願いします。



1 感染予防のために次のことを徹底しましょう。

①積極的に「手洗い」や「うがい」をしましょう。

②外出時には(特に人混みの中では)、マスクを着用しましょう。

③人混みへの外出は避けましょう。

④睡眠を十分にとり、体力を維持し、栄養バランスのある食事をとるなど、健康の維持管理に心がけましょう。

2 新型インフルエンザが疑われる人の相談、そのほか新型インフルエンザに関する一般的な相談が必要な人は、次の相談窓口へ電話してください。

●愛知県西尾保健所

☎0563-5615241

(開設時間 午前9時から午後5時まで)
※新型インフルエンザの予防に対する相談などは、幸田町保健センターでも対応しています。

3 また、発熱などがあり、感染を心配される人は、必ず事前に電話で問い合わせをしてから、かかりつけの医療機関で受診してください。

問合せ 健康課健康G

☎02-881500(保健センター直通)

特集2

子育て支援に関するニーズ調査結果

仕事と子育てを両立するお母さん 6割〜7割
 これから働きたいと思うお母さん 8割〜9割



〔調査対象〕

調査種別	配布数	回収数	回収率
就学前児童（0～5歳）	1,324	793	59.90%
小学校児童（1～6年生）	1,766	1,017	57.60%

**アンケート調査に
1千810人が回答**

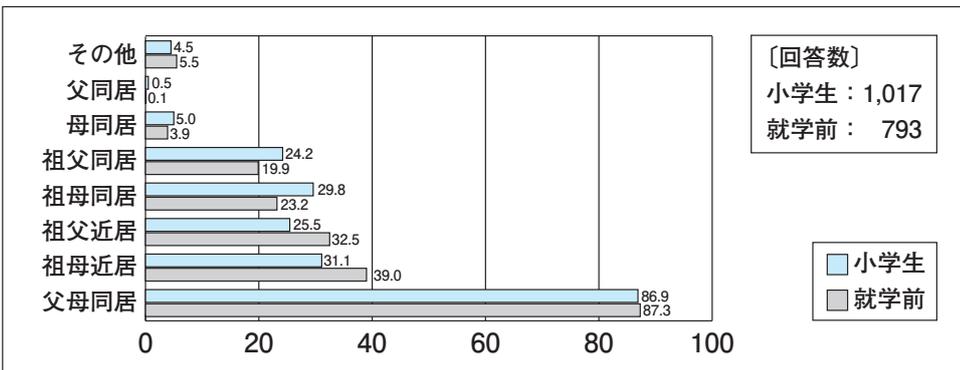
町では、後期行動計画策定に当たり、子ども・子育てに関する生活実態や要望、意見を把握するため、町内の保育園、私立幼稚園、小学校の児童と未就園の児童を持つ保護者3千90人を対象に、昨年12月にアンケート調査を行いました。

調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

町では、「次世代育成支援対策推進法」に基づき平成16年度に策定した「幸田町次世代育成支援前期行動計画」を見直し、平成22年度から26年度を計画期間とする、「後期行動計画を今年度策定します。この策定に向けて昨年12月に実施した「子育て支援ニーズ調査」の結果の概要をお知らせします。

◇同居の状況は？

「父母同居」と回答した人が就学前の保護者で87.3%、小学生の保護者で86.9%と最も多く、「祖母同居」と回答した人が、就学前の保護者で23.2%、小学生の保護者で29.8%、「祖父同居」と回答した人が、就学前の保護者で19.9%、小学生の保護者で24.2%で、祖父母との同居の割合が就学前児童、小学校児童ともに4分の1以下でした。



◆詳しい調査結果は

子育て支援に関するニーズ調査結果については、ホームページでご覧いただけます。

<http://www.town.kotai.lg.jp/>

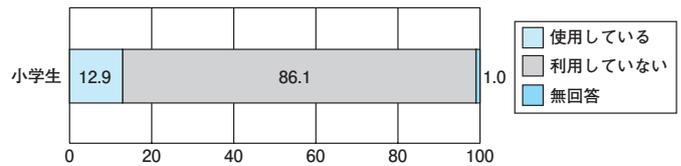
◇子どもを預けられる人の有無

「緊急時の際に祖父母などに預けられる」が就学前児童で65.1%、小学生児童で54.9%と、ともに最も多くなっていました。また、「いずれもない」の回答が、就学前児童で12.7%、小学生児童で11.0%でした。

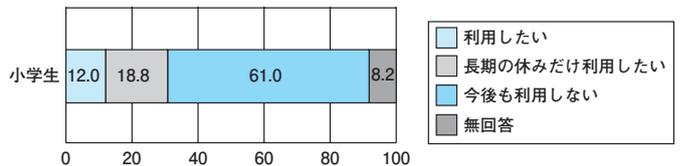
◇祖父母などに預ける際に「心苦しい」など

祖父母などに預けている状況では、就学前児童では「特に問題ない」(55.4%)以外の4割強に「心苦しい」など何かしら心配する結果となっていました。小学生児童においても「特に問題ない」(61.4%)以外の4割弱に「心苦しい」など何かしら心配している結果でした。

◇放課後児童クラブの利用の有無 (回答数: 1,017)



◇今後、児童クラブを利用したいか? (回答数: 876)



◇放課後児童クラブ、放課後子ども教室の利用状況や利用希望

小学生児童の放課後児童クラブの利用の有無については、「利用していない」が86.1%、「利用している」が12.9%で、現在利用していない人への質問では、「利用したい」と「長期の休みの間だけ利用したい」の合計が30.8%、「今後も利用しない」が61.0%でした。放課後子ども教室の利用意向は、「意向がある」31.1%、「意向がない」39.8%、「サービスが無い」が19.7%でした。また、放課後児童クラブを利用する場合は、「6年生までを希望する」の質問では、「6年生まで」が83.1%と圧倒的でした。

◇保育サービスの利用状況と今後の希望

就学前児童の現在利用している子育て支援サービスの種類については、「認可保育所」が79.4%と最も多く、次いで「延長保育」20.0%、「幼稚園」10.4%で、今は利用していないが、今後利用したい、あるいは足りていないと思う保育サービスについては、「認可保育所」が25.3%、「病児・病後児保育」が24.2%、次いで「一時保育」15.6%、「延長保育」11.3%、「事業所内保育所」6.6%、「幼稚園」6.3%となっています。

◇親の就労状況

父親については、「就労中(フルタイム)」が就学前児童で93.9%、小学校児童で92.9%と、ともに大部分を占めていました。母親については、「就労中(パートなど)」が就学前児童で38.8%、小学生児童で46.8%と最も多く、就労中(フルタイム)などと合わせると就学前児童で64.5%、小学生児童で70.2%でした。

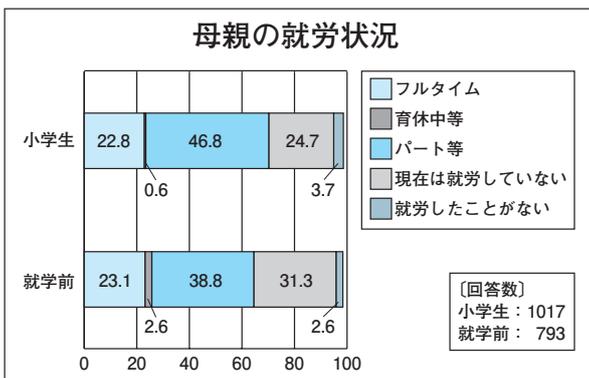
また、現在就労していない母親の今後の就労希望をみると、就学前児童で93.0%、小学生児童で79.6%で、多くの母親が就労希望を持っていることが分かりました。

さまざまなご意見をお寄せいただきました

自由にご意見をいただいた中で、数多く寄せられたご意見を紹介します。

区分	内容
保育サービス	・延長保育の充実
	・保育園の増設、受入れ枠拡大
	・延長保育の拡大により親が育てる時間が減ることを懸念
遊び場	・公園の整備
	・安全に遊ぶことが出来る場所、環境づくり
	・公園や広場の設置、増設
児童クラブ(こども教室)	・児童クラブの受入れ枠拡大
	・児童クラブの対象年齢の延長
	・子ども教室を全学区に設置を
児童館	・児童館の充実
子育て支援全般	・地域交流の充実・地域全体での子育て
	・子育てに伴う経済的支援の充実
	・安心して子どもを預けられる制度、設備の充実
生活環境	・歩道の整備
その他	・小学校の部活動実施を希望
	・中学校の部活動の種類、内容の充実
	・通学時の安全

母親の就労状況



問合せ 児童課児童G (内線141)